

## 第39回玄海旗中学生柔道大会実施要項・柔道教室及び交流練習要項

- 1, 主催 学校法人東海大学、福岡県柔道協会
- 2, 後援 公益財団法人日本武道館、福岡県教育委員会、宗像市教育委員会、公益財団法人全日本柔道連盟
- 3, 協力 株式会社 グローバルアリーナ
- 4, 期 日 **【玄海旗】**2024年9月14日(土)  
開 場 7時20分  
開 会 式 8時50分  
試 合 9時10分～17時00分(予定)  
閉 会 式 17時00分(予定)  
**【交流練習】**2024年9月15日(日)  
開 場 8時00分  
開 始 式 9時00分  
柔道教室 9時10分～10時10分(予定)  
交流練習 10時30分～15時00分(予定)  
講 師 :(調整中)
- 5, 会 場 〒811-4193 福岡県宗像市田久 1-9-2 東海大学附属福岡高等学校 松前記念体育館(2F アリーナ)
- 6, 参加資格 **【玄海旗】**
  - (1) 大会出場チームは、今年度全日本柔道連盟登録をしている者であり、中体連で出場している学校、道場単位とする。男子のチーム編成は、監督1名、コーチ1名、男子選手8名(正選手5名と補欠3名)の計10名、女子のチーム編成は、監督1名、コーチ1名、女子選手5名(正選手3名と補欠2名)の計7名とする。(主催者が認めた場合及び海外チームはこの限りではない)
  - (2) 大会出場チームは、主催者の推薦をされた団体とする。※県内チームにおいては自由参加とする。
  - (3) 2024年4月以降、当該団体の在籍者で、中学2年生及び1年生であること(海外チームはこの限りではない)**【交流練習】**
  - (1) 大会出場チームは、今年度全日本柔道連盟登録をしている者とし、参加申し込みは該当団体を通じて行うこと(主催者が認めた場合及び海外チームはこの限りではない)。
  - (2) 玄海旗柔道大会出場団体及び近隣の中学生(男女)。
  - (3) 参加者は2024年4月以降、当該団体の在籍者であること(海外チームはこの限りではない)。
- 7, 審判規定
  - (1) 試合は国際審判規定で行う。(少年大会特別規定を適用する)
  - (2) 試合時間は、正味3分間とする。
- 8, 競技方法
  - (1) 団体試合はトーナメント戦またはリーグ戦とする。
  - (2) 各チーム間の試合は、点取り試合とする。
  - (3) 試合は男子においては自由配置とし、各チーム5名で行う。女子においては体重順に配置し各チーム3名で行う。男女とも試合ごとのオーダーの変更を認める。  
※各チーム第1試合については、受付時に提出する。その後の試合は、前試合終了後、ただちにオーダー係に提出のこと。
  - (4) 「優勢勝ち」の判定基準「技あり」または「僅差(※指導の差2)」以上とする。
  - (5) 優劣の成り立ちは以下の通りとする。
  - (6) リーグ戦の勝敗の勝敗の決定は次による。  
ア チーム間における勝ち、引き分け、負けの率による。  
イ アにおいて同等の場合は、勝ち数の合計による。  
ウ イにおいて同等の場合は、勝ちの内容により決定する。  
エ ウにおいて同等の場合は、負けの数の合計による  
オ エにおいて同等の場合は、負けの内容により決定する。  
カ オにおいて同等の場合は、1名による代表戦を1回行い、決勝トーナメントへの出場チームを決定する。(3チーム同等の場合は、代表者3名によるリーグ戦を行う)  
※1 代表戦は代表選手を任意に選出して行う。代表戦の「優勢勝ち」の判定基準は「技あり」または「僅差」(「指導」差2)以上とし、試合終了時に得点差がない場合、もしくは、「指導」

差が1以下の場合、ゴールデンスコア方式の延長戦を時間無制限で行う。延長戦は、「技あり」以上の得点があった時点、または、「指導」の数に差が出た時点で試合終了となる。

※2 代表戦で「指導」の累積により両者が同時に「反則負け」となった場合は、スコアをリセットして、ゴールデンスコア方式の延長戦を時間無制限で行い、勝敗を決する。延長戦で「指導」の累積により両者が同時に「反則負け」となった場合は、スコアをリセットして、再度ゴールデンスコア方式の延長戦を時間無制限で行い、勝敗を決する。

(7) トーナメント戦の勝敗の決定は次による。

ア 勝ち数の多いチームを勝ちとする。

イ アで同等の場合は、「一本」による勝ち数の多いチームを勝ちとする。

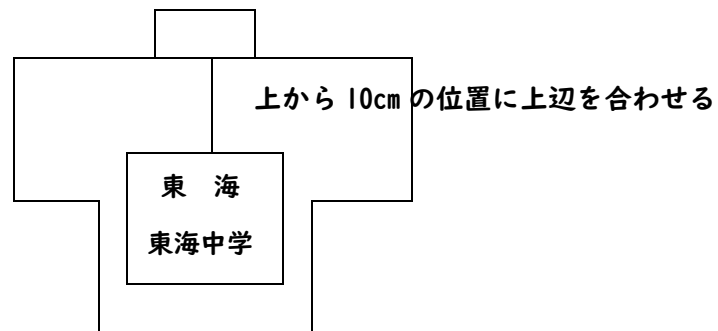
ウ イで同等の場合は、「技あり」による勝ち数の多いチームを勝ちとする。

エ ウで同等の場合は、代表戦を行う。(リーグ戦と同様)

9, ゼッケン 柔道衣に縫付けること。つけていない選手は出場できない。

※イメージ図 (cm表記あり)

### ゼッケン見本



10, 組み合わせ 試合組み合わせは主催者において行う。(9月の下旬以降にHPにて公開する)

11, 表彰 優勝、準優勝、3位2チーム、5位4チームを表彰する。

12, 申込方法 【玄海旗】

(1) 申込方法：出場校の代表者は、東海大学付属福岡高校ホームページにある申請フォームに、出場選手全員分の必要事項を入力する。すべての項目を入力した後、「第39回玄海旗中学校柔道大会出場承諾書」をA4サイズ用の紙で出力し、学校長(団团长)の印を得た状態で大会当日受付へ提出する。

(2) 申込先：東海大学付属福岡高校ホームページ ※Topics内を確認  
(URL：<https://www.fukuoka.tokai.ed.jp/>)

(3) 申込期間：WEB登録期間：

2024年7月16日(火)15時00分から8月9日(金)24時00分まで

(4) 参加費：男子：8,000円 女子：5,000円(当日受付にて現金で徴収)

(5) 選手変更：①参加申込後、登録選手が病気・負傷・その他やむを得ぬ事情で出場できない場合は、選手を変更することができる。

②選手変更は、当日受付時(監督会議まで)に「選手変更届」を記入の上、受付に提出する。

③変更された選手は、監督会議にて発表する。

(6) 問い合わせ：大会事務局まで

【交流練習】

(1) 申込方法：参加校の代表者は、東海大学付属福岡高校ホームページにある申請フォームに、参加者全員分の必要事項を入力する。すべての項目を入力した後、「第39回玄海旗中学校柔道大会交流練習承諾書」をA4サイズ用の紙で出力し、学校長(団团长)の印を得た状態で大会当日受付へ提出する。

(2) 申込先：東海大学付属福岡高校ホームページ ※Topics内を確認  
(URL：<https://www.fukuoka.tokai.ed.jp/>)

(3) 申込期間：WEB登録期間：

2024年7月16日(火)15時00分から8月9日(金)24時00分まで

(4) 参加費：無料

(5) 問い合わせ：大会事務局まで

- 13, 審判員 審判員は、主催者より委嘱された者が行う。
- 14, 監督・審判会議 (1) 日 時：9月14日(土)・15日(日) 両日ともに8時10分より  
(2) 会 場：松前記念体育館 1F WT ルーム
- 15, 大会事務局 東海大学附属福岡高等学校内「玄海旗中学生柔道大会事務局」  
〒811-4193 福岡県宗像市田久 1-9-2 TEL：0940-32-3311 FAX：0940-33-7466  
◇大会の詳細についてのお問い合わせ先<東海大学附属福岡高等学校 岩川 武久>
- 16, 保険について (1) 玄海旗・交流練習においての怪我等に関しては、応急的な一時処置は主催者側で行いますが、それ以上の責任は負いません。各学校の責任において保険等(スポーツ安全保険など)の加入をお願いします。
- 17, その他 (1) 監督の言動・行動については原則(公財)全日本柔道連盟「試合場におけるコーチの振る舞いについて」に従う。  
(2) 保険証を必ず持参すること。  
(3) 昼食時間は設けない。各チームで適宜とること。  
(4) 大会期間中の貴重品等は、各チームで責任をもって管理する。破損・盗難等の責任は負わない。  
(5) ゴミ等は必ず各自で持ち帰ること。
- 18, 参加における個人情報及び肖像権に関わる取り扱いについて大会実行委員会は、大会参加申込書等で取得される個人情報及び肖像権の取り扱いに関して下記のとおり対応する。

#### 記

#### 1 参加申込書に記載された個人情報の取り扱い

- ① 大会プログラムに掲載される。
- ② 競技会場内でアナウンス等により紹介される場合がある。
- ③ 競技会場内外の掲示板等に掲載されることがある。
- ④ 組み合わせ等の内容が大会関連ホームページに掲載されることがある。
- ⑤ 氏名・学校名・学年については、報道の正確性を期するため、大会開催前に報道機関に提供する場合がある。

#### 2 競技結果(記録)等の取り扱い

- ① 大会事務局が作成する大会結果を大会関係ホームページ等で公開する。
- ② 主催者に認められた報道機関等により、新聞・雑誌及び大会関連ホームページ等で公開される場合がある。
- ③ 大会プログラム掲載の個人情報とともに、主催者が作成する大会報告書に掲載される。
- ④ 優勝及び上位入賞結果(記録)等は、次年度以降の大会プログラムに掲載される場合がある。

#### 3 肖像権に関する取り扱い

- ① 主催者に認められた報道機関等が撮影した写真が、新聞・雑誌・報告書及び大会関連HP等で公開されることがある。
- ② 主催者に認められた報道機関等が撮影した映像が中継または録画放映及びインターネットにより配信される場合がある。また、DVD等に編集され、配付される場合がある。
- ③ 大会時に撮影する映像(ケアシステム等)を審判員及び指導者の技術向上のための研修会資料として使用する場合がある。

#### 4 実行委員会としての対応について

- ① 取得した個人情報を上記利用目的以外に使用することはない。
- ② 参加申込書の提出により、上記取り扱いに承諾したものとして対応する。
- ③ 大会役員、競技役員、運営役員、その他各種委員や補助員、実行委員会と大会に関する契約をしている者、大会運営関係者及び観客の皆様については、上記取り扱いに承諾したものとして対応する。